

【評価シート】令和7年度 企業版ふるさと納税対象事業実施報告（公表希望企業のみ掲載（企業名・寄付額））

No.	事業名	主な具体事業名	事業概要	事業費 (円)	寄付申込企業名	寄附額 (円)	差額 (円)	重要事業評価指数 (KPI)				令和7年度の効果実証（実施状況・評価）	今後の取組み・事業展開
								当初値 (R6年度)	単位	R7実績	最終目標値 (R11年度)		
1	こどもまんなか社会対応の体制整備、学校施設の大規模改修、子育て・教育施設の充実	子ども・子育て支援事業	少子化対策の推進及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図るもの。	7,057,811	株式会社菊地電機	1,000,000	6,057,811	・赤ちゃん誕生お祝い事業支給人数 ・補助対象施設数	・130人 ・0件	・103 ・7	・130 ・8	・ newborn児が誕生した保護者に対し、紙おむつ、ゴミ袋、ベビーバスの現物を支給することにより、保護者の経済的負担の軽減を図り子育てを支援した。 ・保育所等の利用児童数が利用定員を下回る場合に保育士等を継続して確保するための経費を支給し、保育士の確保及び安定的な保育所の運営を図った。	今後、継続して少子化対策の推進及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図っていく。
2	「志教育」の推進、県内上位の学力維持・向上	教育環境整備事業	不登校傾向の児童生徒や感染症・災害等による学校の臨時休業に対応できるよう、オンラインによる家庭学習や授業等に必要措置を行うもの。	25,599,583	東北環境整備株式会社			不登校傾向の児童生徒のうち、タブレット活用による授業参加者割合	12%	6	60	学校・家庭のネットワーク環境整備及びICT支援員の配置によるタブレット活用支援により、授業に出られない児童生徒がタブレットを使いオンラインで授業を受けられる環境の整備を行った。	オンラインで授業を受けた児童生徒はまだ少ない状況だが、教職員とのオンラインでの対話が出席に繋がる事例も増えてきている。今後、ICT支援員による継続的な支援により、タブレットの活用を推進することで、児童生徒へのきめ細やかな対応を進め、授業参加者の増を目指す。
4	こどもまんなか社会対応の体制整備、学校施設の大規模改修、子育て・教育施設の充実	子ども・子育て支援事業	少子化対策の推進及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図るもの。	7,057,811	株式会社トスネット	500,000	6,557,811	・赤ちゃん誕生お祝い事業支給人数 ・補助対象施設数	・130人 ・0件	・103 ・7	・130 ・8	・ newborn児が誕生した保護者に対し、紙おむつ、ゴミ袋、ベビーバスの現物を支給することにより、保護者の経済的負担の軽減を図り子育てを支援した。 ・保育所等の利用児童数が利用定員を下回る場合に保育士等を継続して確保するための経費を支給し、保育士の確保及び安定的な保育所の運営を図った。	今後、継続して少子化対策の推進及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図っていく。
5	公共施設・インフラ等の長寿命化と適正管理の推進	道路施設定期点検事業	道路施設の維持修繕等、管理業務を効率的に実施することを目的に、トンネルや橋梁等の法定点検を5年間隔で実施する。	8,613,000	株式会社東建工営	1,000,000	7,613,000	橋梁点検数	105箇所	43	98	法定点検（5年に1度）は令和6年度から3巡目の点検となる。令和7年度は43橋の点検、早期に措置を講ずべき状態と判定された橋梁1橋の設計及び補修工事を実施した。	令和8年度は33橋の点検を予定している。今後、定期点検等で確認される損傷は、損傷状況や路線重要度などから優先順位の高い橋梁より修繕工事を実施していく。また、橋梁の集約・撤去、新技術の活用による費用の縮減を目指し、予防保全型の維持管理を実施していく。
6	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	フレスコ株式会社	600,000	364,286,645	白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら干本桜スポートパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
7	大規模な自然災害に対する防災施設の整備、防災意識の高揚を推進	水防対策事業	風水害や大規模災害に備えた防災訓練の実施や各行政区における自主防災組織の活動を支援し、地域の防災力向上を図る。	131,617,968	株式会社平泉洋行	物納：水上ドローン (3,172,500円相当)	128,445,468	自主防災組織による年間防災訓練数	4回	6	10	地域の災害対策の推進として、各自主防災組織で実施する防災訓練への積極的な指導・助言を行い、地域防災力の向上を図った。また、風水害の水防対策として、各種資機材の購入や備蓄及び寄付いただいた発電機等の整備を行い、住民の安全対策の強化に努めた。	自主防災組織未結成の行政区へ継続して結成を呼び掛けることともに、全組織を対象とした防災士とのマッチング研修会等を実施し、各地域における防災対策を推進する。また、風水害を想定した防災・減災情報を発信し、町・住民とともに風水害に備える体制づくりに取り組むとともに、令和8年度から開始される新たな気象情報の周知・徹底を図るため、「水害ハザードマップ」の改訂作業を行い、住民の安全対策を実施する。
8	「志教育」の推進、県内上位の学力維持・向上	教育環境整備事業	不登校傾向の児童生徒や感染症・災害等による学校の臨時休業に対応できるよう、オンラインによる家庭学習や授業等に必要措置を行うもの。	25,599,583	株式会社アガルート	100,000	25,499,583	不登校傾向の児童生徒のうち、タブレット活用による授業参加者割合	12%	6	60	学校・家庭のネットワーク環境整備及びICT支援員の配置によるタブレット活用支援により、授業に出られない児童生徒がタブレットを使いオンラインで授業を受けられる環境の整備を行った。	オンラインで授業を受けた児童生徒はまだ少ない状況だが、教職員とのオンラインでの対話が出席に繋がる事例も増えてきている。今後、ICT支援員による継続的な支援により、タブレットの活用を推進することで、児童生徒へのきめ細やかな対応を進め、授業参加者の増を目指す。
9	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社アステム	5,000,000	359,886,645	白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら干本桜スポートパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
10	生涯にわたり、学び続けられる環境づくりの推進	社会教育施設運営管理事業	社会教育の拠点である公民館を中心に、地域課題に沿った事業を推進し、また幅広い世代のニーズに合った事業を展開し、生涯にわたり学び続けられる環境をつくる。	716,696	ダイニチ工業株式会社	物納：加湿器1台、セラミックファンヒーター6台、空気清浄機2台 (310,000円相当)	406,696	社会教育施設の利用人数	20,870人	23,640	35,000	コロナ禍からの利用者数の回復は未だ途上であるが、利用状況を以前の水準に近づけるため、幅広い世代のニーズに対応した主催講座を開催することともに、主な利用者である文化協会の活動支援を行った。	引き続き利用者数の回復に向けて、世代を問わず参加しやすい講座の企画・実施に取り組むとともに、主要な利用団体である文化協会の活動を継続的に支援する。また、利用者の利便性向上及び事務の効率化のため、主催講座等のオンライン申請を推進していく。
11	こどもまんなか社会対応の体制整備、学校施設の大規模改修、子育て・教育施設の充実	子育て支援センター活動事業	子育て支援や児童クラブなどの複合施設として、利用者の健康と安全の観点から、環境整備を図るもの。	4,212,340	ダイニチ工業株式会社	物納：加湿器6台、空気清浄機6台 (627,600円相当)	3,584,740	児童クラブ登録人数 子育て支援センター利用者数 一時預かり事業利用者数	120 7,000 300	120 6,300 256	120 10,000 400	空気清浄機や加湿器を各所に配置し、施設設備の整備・充実を図ることができた。特に冬の時期におけるインフルエンザや風邪の予防に非常に有効であり、子どもたちが安心・安全に過ごせる場を提供することができた。	今後も継続して、子育て支援や児童クラブの利用者が安心して過ごせる環境整備を行う。
12	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社昭和商会			白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら干本桜スポートパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
13	大規模な自然災害に対する防災施設の整備、防災意識の高揚を推進	水防対策事業	風水害や大規模災害に備えた防災訓練の実施や各行政区における自主防災組織の活動を支援し、地域の防災力向上を図る。	131,617,968	株式会社セント	物納：ポータブル電源8台 (1,133,088円相当)	130,484,880	自主防災組織による年間防災訓練数	4回	6	10	地域の災害対策の推進として、各自主防災組織で実施する防災訓練への積極的な指導・助言を行い、地域防災力の向上を図った。また、風水害の水防対策として、各種資機材の購入や備蓄及び寄付いただいた発電機等の整備を行い、住民の安全対策の強化に努めた。	自主防災組織未結成の行政区へ継続して結成を呼び掛けることとともに、全組織を対象とした防災士とのマッチング研修会等を実施し、各地域における防災対策を推進する。また、風水害を想定した防災・減災情報を発信し、町・住民とともに風水害に備える体制づくりに取り組むとともに、令和8年度から開始される新たな気象情報の周知・徹底を図るため、「水害ハザードマップ」の改訂作業を行い、住民の安全対策を実施する。
14	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社不動産鑑定青田事務所	500,000	364,386,645	白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら干本桜スポートパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。

No.	事業名	主な具体事業名	事業概要	事業費 (円)	寄附申込企業名	寄附額 (円)	差額 (円)	重要事業評価指数 (K P I)	令和7年度の効果実証(実施状況・評価)				今後の取組み・事業展開	
									当初値 (R6年度)	単位	R7実績	最終目標値 (R11年度)		
15	一目千本桜を活用した、シティプロモーション	一目千本桜ブランド化事業	町の象徴である一目千本桜の老木化による樹勢の衰えに対する保護や新たな植栽とともに、一目千本桜の一層のブランド力強化と四季折々の魅力をPRする。	21,507,686	エスパークマネジメント株式会社	20,000,000	1,507,686	桜堤桜樹本数	868	本	867	850	一目千本桜は寿命をゆうに超えた老木であり、保護にも限りがある。ここ数年、区画を限定し一目千本桜の樹勢回復、腐朽桜樹の外科的処置をおこなった。・過去に治療した治療箇所のメンテナンス3本・腐朽部位の切除及び防虫防除処置8本!今後も区画を限定し対応していく。また、河川法により堤に植栽はできないものの、新たな名所づくりのため品種育成業務を展開した。	樹勢回復のための施肥の実施及び消毒、剪定業務の実施。また、新たな名所づくりによる新品種育成業務の展開。
16	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社あいホーム			白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0	人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら千本桜スポーツパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
17	大規模な自然災害に対する防災施設の整備、防災意識の高揚を推進	水防対策事業	風水害や大規模災害に備えた防災訓練の実施や各行政区における自主防災組織の活動を支援し、地域の防災力向上を図る。	131,617,968	株式会社AIRMAN	現金：375,000円 物納：小型ガソリンエンジン発電機12台 (1,872,000円相当)	129,370,968	自主防災組織による年間防災訓練	4	回	6	10	地域の災害対策の推進として、各自主防災組織で実施する防災訓練への積極的な指導・助言を行い、地域防災力の向上を図った。また、風水害の水防対策として、各種資機材の購入や備蓄及び寄付いただいた発電機等の整備を行い、住民の安全対策の強化に努めた。	自主防災組織未結成の行政区へ継続して結成を呼び掛けるとともに、全組織を対象とした防災士とのマッチング研修会等を実施し、各地域における防災対策を推進する。また、風水害を想定した防災・減災情報を発信し、町・住民とともに風水害に備える体制づくりに取り組むとともに、令和8年度から開始される新たな気象情報の周知・徹底を図るため、「水害ハザードマップ」の改訂作業を行い、住民の安全対策を実施する。
18	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社サリサーチ	500,000	364,386,645	白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0	人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら千本桜スポーツパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
20	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社谷工機社			白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0	人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら千本桜スポーツパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。
21	新たな賑わい交流拠点の創出	白石川右岸河川敷等整備事業	町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、白石川右岸河川敷等の整備を実施する。	364,886,645	株式会社コイワイ			白石川右岸河川敷等整備後の利用者数	0	人	14,043	50,000	令和7年度は、既に供用を開始している「おおがわら千本桜スポーツパーク」の維持管理と、「賑わい交流拠点施設」の盛土造成工事及び施設整備・維持管理運営事業を実施する参画事業者の募集並びに契約締結を行った。盛土造成工事では、国・県の建設発生土を有効活用した工事や自由広場としても活用可能な調整池の整備等を実施した。また、参画事業者の募集では、PFI法に基づいたBTO方式による事業者選定を行った。	令和7年度中に契約を締結した事業者により令和8・9年度において施設の整備事業を行い、令和10年4月の供用開始に向けて準備を進める。併せて、施設内の道路等の整備工事も並行して実施していく。